

# 滋賀県下水道審議会

## 第10回滋賀県下水道審議会 議事録

1 日時：令和2年（2020年）3月30日（月） 15：00～17：00

2 場所：滋賀県庁 北新館3階 中会議室

3 出席委員等：（五十音順、敬称略）

岡本芳子委員、上村照代委員、木下康代委員、清水芳久委員（副会長）、杉澤喜久美委員、只友景士委員、西野麻知子委員、橋川渉委員、松井三郎委員（会長）、松村順子委員

【全10委員、出席10委員】

（事務局：技監（下水道担当）、下水道課長、下水道課関係職員、環境政策課関係職員、温暖化対策課関係職員）

4 開会あいさつ等

- ・開会のあいさつ
- ・新型コロナウイルス対応について

5 議事内容

（1）滋賀県下水道第2期中期ビジョンの策定について

- ・事務局より資料1に基づき説明

（2）滋賀県下水道第2期中期ビジョンの策定に関連する施策の紹介について

- ・事務局より資料2に基づき説明
- ・事務局より資料3に基づき説明

（3）意見交換・質疑応答について

◆滋賀県下水道第2期中期ビジョンの策定について

・コンセプトの意図はこのまま使うのか。「琵琶湖の恵み」より「琵琶湖の恵みを享受しつつ」の方が良い。「県とコンセプトの意図について、「他の主体」よりも「多様な主体」の方がみんなで取り組む感じがでる。〈委員〉

・コンセプト案などに「SDGsの目標を踏まえ」という表現を入れてほしい。〈委員〉

→SDGsは県でも大きな目標なので、コンセプトの意図に反映したい。コンセプトの意図の中に言葉は入っていないが考えは入っている。コンセプトにSDGsという言葉を入れるかどうかは、今後検討する。〈事務局〉

・「安定したサービス」と書いてあるが、接続できていない家庭があることを考えて、「公平で安定

したサービス」という表現の方が良い。〈委員〉

→検討していく。〈事務局〉

→「こうへい」には公平と衡平の2つの漢字がある。公平は社会的な意味合いが強い。衡平はバランスがとれたという意味である。漢字の使い方も含めて検討していただきたい。〈会長〉

#### ◆第五次滋賀県環境総合計画について

・資料2のP.2 図中に基本構想の部門別計画がある。この中に下水道の計画が位置づけられるという意味か。〈会長〉

→オレンジの矢印の先にある分野別計画に下水道に関連する計画を含んでいる。〈事務局〉

・環境総合計画は、農業との関係が深く水産業ともつながりが強い。琵琶湖の水質問題と下水道の貢献度が分からない。ビジョンではどう貢献しているのか情報をいただきたい。これは要望である。〈会長〉

→関係部局に意見照会しながら計画を策定している。意見交換の場に該当する部局が入っていただき議論していただけたらと思う。〈事務局〉

・琵琶湖の水質保全対策への下水道の貢献は、重要な施策としてもっとアピールしてはどうか。近年、水質保全対策に新しい施策が追加されて、貢献が見えにくくなっているのではないか。

〈委員〉

→ノンポイント汚染対策は、下水道の直接的な対策ではないが、次回以降議論したいと思う。

〈会長〉

・資料2のP.2 図中の琵琶湖流域別下水道整備総合計画の「流域別」という表現だと流域単位での関連付けと誤解しそうなのでビジョン等の方が良いのではないか。〈委員〉

→枠の右下に「など」と記載しているとおり、色々な計画を包括している。枠内の計画は、例示しているだけと理解いただきたい。〈事務局〉

・国のエネルギー政策の動向や原子力政策で、環境基本法の枠から原子力は除外されている。汚泥の問題を議論しているときに、原子力事故が起こった場合、肥料や焼却が何もできなくなる。我々はこれを除外して議論していることを意識してほしい。〈委員〉

→万が一原子力事故が起こった時の在り方は、考えておきたい。重点テーマ4で議論してはどうかと思う。〈会長〉

#### ◆滋賀県下水道第2期中期ビジョンの策定について

・コンセプトの意図にある「新しい価値の創造」という中には、再生可能エネルギーや県全体のエネルギー政策というニュアンスは入っているのか。〈委員〉

→入っている。CO<sub>2</sub>ネットゼロや有効利用、エネルギーを作るということも盛り込みたいと考えている。〈事務局〉

・コンセプトの新しい価値の創造の中に、「県のエネルギー政策に寄与する」等のコメントを入れ

てはどうか。〈委員〉

→コンセプトは細かく書き過ぎないようにしたい。後ろの重点テーマに記述したい。〈事務局〉

→今日はコンセプトの提案のみである。今後、磨き上げる機会があるので、議論の最後にもう一度見直しすることになる。〈会長〉

◆第五次滋賀県環境総合計画について

・気候変動、ゲリラ豪雨など、環境対策の中でゲリラ豪雨が想定されているが、環境総合計画に渇水は想定されていないのか。〈委員〉

→過去には渇水はあったが、現状では少ない印象。平成25年と29年の台風による溢水、油の流出等、急激な水位上昇の意識が強い。〈事務局〉

・資料2P.6の3-3環境インフラ等の内容について、浸水対策や不明水対策等は、総合的に「雨水対策」とした方が良い。〈委員〉

→環境総合計画のパンフレットなので、今後見直しする際には参考にさせていただく。〈事務局〉

→中継ポンプ場の能力を超えた場合は、下水道だけでは対応できない状況が考えられる。重点テーマ4で議論していきたい。〈会長〉

◆滋賀県下水道第2期中期ビジョンの策定について

・本日の審議会では、重点テーマを5つに絞ることと、その内容の議論を最重要事項としているが、重点テーマは5つと決めているのか事務局に伺いたい。〈委員〉

→審議いただく時間の関係もあるため、5つに絞っている。中期ビジョンの肝になるところとして選んでいる。〈事務局〉

・琵琶湖の環境保全が重要テーマに入っていないことが不服である。〈委員〉

→琵琶湖の水質保全は下水道の重要な役割と認識しており、庁内でも研究対象として今後どこにむかっていくべきか思案しているところである。〈事務局〉

→琵琶湖の水質保全は下水道だけでは議論できない。関係部局とも話して、下水道で何ができるかを議論したい。〈会長〉

・県と市町の下水道との関係はどうなっているのか。〈委員〉

→中期ビジョンは、県の流域下水道だけではなく大津市などの単独公共下水道も含めて、下水道のあるべき姿を考えるものである。このため全体を網羅している。〈事務局〉

・地震の時が一番心配。また議論していただけるといことで安心している。〈委員〉

・テロや原発事故が起こった時の視点も重要と思う。〈委員〉

・広域化すればうまくいくと思うが、メリット、デメリットが分からない。〈委員〉

→地震や原発事故は、重点テーマ4で掘り下げていく。広域化は「つなげる」に関係するため重点テーマ5で議論したい。〈事務局〉

・コンセプト案の決定に至った経緯や、グループワークからの反映で5つの重点テーマを採用した理由が分からない。〈委員〉

→コンセプト案は、関連計画のコンセプトにある「多様な」と同義で「みんなで」の大きな言葉があり、「あたりまえの安心」は今までやってきたことは粛々とするという意図がある。また、進化や挑戦を掲げたいという意図でサブタイトルを決めた。迷惑施設から地域の中でエネルギー循環を行える誇れる施設へみんなで歩んで行けるようにという思いがある。〈事務局〉

・参考資料4に示すとおり、グループワークで多く挙げた課題を重点テーマに反映させている。また、コンセプト案は、グループワークで考えていただいたスローガンを融合したものとなっている。〈事務局〉

・重点テーマは県で話し合った結果、施策として取り組んでいきたいものを採用した。〈事務局〉

・重要テーマの説明が分かりにくい。下水道に携わっていない人にも理解しやすい説明や資料作りが必要であり、環境総合計画の琵琶湖モデルを大切にすべき。住民を巻き込んで環境改善というのをビジョンにも反映させるべき。関係部局との連携も大事。〈委員〉

・100%普及していない地域や農集排地区など、生活排水対策の中での全体のビジョンはどうかを考えていかないといけない。〈委員〉

・ビジョンの策定過程の中でも市町の意見を反映してもらいたい。一体的な取り組みの中で、役割分担と連携をどうするか、議論できたら良い。施策を進めるにはコストがかかり、使用料の改定など使用者である住民の負担につながる可能性もある。コスト削減の観点からも議論を進めてもらいたい。超高度処理は、そこまでお金をかけるのかという意見がある。〈委員〉

・コンセプトについて、1行目は滋賀県全体、2行目は下水道の話になっており、2つに距離を感じる。滋賀県、琵琶湖に対して下水道が果たす役割から各施策があり、それぞれの施策を実施したことで滋賀県、琵琶湖がどうなったのか立ち返る必要がある。下水道のみを見るのではなく、滋賀県全体を見る視点が必要。そのためには、「みんなで」は、下水道分野のみではなく違った分野の人も入れる必要がある。ここを期待している。〈委員〉

・迷惑施設から誇れる施設にという意識改革のためには住民啓発はとても大事なので、どこかで入れていただき具体的な方法を示していただきたい。〈委員〉

・コンセプトの「地域と琵琶湖を健康に」という表現は、今が不健康であると捉えられるので、不適切と思う。「健康」は県知事もよく使われている言葉ではあると思うが、言葉のつながりに違和感がある。〈委員〉

・「みんなで」の前にも滋賀県らしさを入れてもらったらと思う。再考を願う。〈委員〉

→改めて見てみると、このコンセプトは良いと思う。ただし、健康という言葉と施策の繋がりが分かりにくい。〈委員〉

## 6 閉会あいさつ